

令和 8 年度第 4 回合同教育研究会議議事概要

1 開催日時

令和 8 年 7 月 8 日 13 時 00 分～14 時 05 分

2 場所

本部棟 3 階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、高橋副学長兼教育支援本部長兼教学マネジメントセンター長、亀田副学長兼研究・地域連携本部長、鈴木副学長兼事務局長、高嶋学生支援本部長、猪股企画・広報本部長、高橋高等教育推進センター長、工藤看護学部長、佐藤社会福祉学部長、橋本ソフトウェア情報学部長、Tee 総合政策学部長、長坂盛岡短期大学部長、川崎生活科学科長、田中宮古短期大学部長、大志田経営情報学科長、中里委員（学外委員：岩手大学人文社会学部教授）

[オブザーバー]

武蔵事務局次長兼総務室長、中川教育支援室長、柴田学生支援室長、佐藤研究・地域連携室長、千葉企画・広報室長、尾形宮古事務局長

[事務局]

高橋副参事兼総務財務課長、高橋人事給与課長、森主幹、伊藤主幹、田沼主任主査

4 会議の概要

議事録確認

前回会議 6 月 10 日の議事録（議事概要）については、原案のとおり承認された。

審議事項

（1）アセスメント・ポリシーの改正について

高橋教育支援本部長から、資料に基づき説明があり、本改正は、昨年度、高等教育推進センター及び教学マネジメントセンターの組織改編の検討が同時に進められていたことから、今年度 6 月の学務調整会議での審議をへて、今回の教育研究会議において審議するものである。変更内容は組織改編に伴うもので、承認後は、令和 8 年 4 月 1 日に遡って施行しようとするものである旨の補足説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

（2）第三期認証評価の改善課題に係る改善報告書（案）について

猪股企画・広報本部長から、資料に基づき説明があり、今後のスケジュールについて、大学基準協会及び大学評価委員会からの意見等をさらに反映させた上で、最終版を書面審議し、7 月末までに大学基準協会に提出するとの説明があった。

鈴木学長から、改善課題のうち登録単位数の上限に関連し、本学における副専攻の取組など、学びたい学生の支援を合わせて検討することも考えられる旨の発言があった。

(3) 学長候補者の推薦について

人事案件のため、全ての審議、協議、報告事項が終了した後に、学長及び事務局の関係者以外の者が退席した上で審議が行われた。

協議事項

なし

報告事項（口頭報告）

(1) オハイオ大学、中部大学及び本庄国際奨学財団との復興防災学習プログラムの実施について

高橋高等教育推進センター長から、資料に基づき説明があった。鈴木学長から、本庄国際奨学財団からの参加者の多くは海外の方であるか質問があり、委員から、そうであるとの説明があった。

(2) 保証人に対する成績通知の電子化について

高嶋学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。委員から、業務支援システムの機能拡張により、様々な通知をシステム上で行うことが可能となるが、今回は、あくまで成績通知のみの運用開始であるか質問があった。このことについて、委員から、各種お知らせなど、直ちに本システムで運用しようとするものではなく、成績通知のみでの運用開始であるとの説明があった。このことに関連し、機能拡張という文言により、誤解が生じないように注意されたい旨の意見があった。

また、委員から、編入学の3年次生を対象に含めると、事務が複雑になるのではないか意見があった。これに対し、学生支援室で検討する旨の説明があった。

(3) 岩手県立大学外部研究資金等受入状況について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があり、「外部研究資金等受入実績」について、すべての区分で金額が減少しており、また、共同研究については、学外の研究費を使っているものに比べて、学内研究費を使っているものが圧倒的に多く、今年度は、さらにこうした部分の外部資金獲得の取組に力を入れていきたい旨の補足説明があった。

鈴木学長から、若手の研究者においては、共同研究の分担者としてではなく、代表者として責任と自分なりのアイディアで、共同研究を行ってほしい旨の発言があった。

(4) 令和8年度「新入生アンケート」及び「2年次生アンケート」の結果について

猪股企画・広報本部長から、資料に基づき説明があり、「本学が第一志望だった割合の推移」について、年度ごとに増減があるが、10年間を通してみると全体的に下降傾向になっている旨の補足説明があった。

(5) ゼロ・カーボン化の取組状況について

高嶋ゼロ・カーボン化推進室長から、資料に基づき説明があった。鈴木学長から、一部の人たちが取り組むということではなく、教職員と学生全員が取り組むという習慣をつけないければならず、ぜひ取組状況等を含めて、学部や学生と共有してほしい旨の発言があった。

(6) 令和8年度ハラスメント防止対策研修会について

武蔵次長兼総務室長から、資料に基づき説明があった。

報告事項（資料報告）

- (1) 令和8年度副専攻「地域創造教育プログラム」第8期生及び「国際教養教育プログラム」第4期生、文理融合データサイエンス教育プログラム「応用基礎レベル」第2期生修了証授与式について
- (2) 令和9年度編入学試験（ソフトウェア情報学部）選抜結果について
- (3) 大学院入学者選抜（社会福祉学研究科学内推薦選抜、ソフトウェア情報学研究科及び総合政策研究科第1次募集）出願状況について
- (4) 令和8年度第1回学務調整会議の開催について
- (5) 「いわて高等教育コンソーシアム」令和8年度学内体制等について
- (6) 令和8年度「岩手県知事講話」の公開（遠隔配信）について
- (7) 令和8年度岩手県立大学本庄照子奨学金の採用者決定について
- (8) 盛岡さんさ踊りへの出場について
- (9) 令和8年度第1回就職支援連絡調整会議の開催結果について
- (10) 令和8年度データサイエンス・リカレント講座 AI 研修・EBPM カンファレンスの開催について
- (11) 令和8年度防災復興支援研究の採択課題の決定について
- (12) 岩手もりおか学生デジタルアイデアコンテスト2026の開催について
- (13) 国の修学支援新制度に係る機関要件について
- (14) 次世代育成支援及び女性活躍推進のための一般事業主行動計画に係る令和7年度実施状況について
- (15) 令和8年度第1回安否確認システム報告訓練の実施結果について
- (16) ダイバーシティ推進に関する取組状況について

(15)について

委員から、6月25日木曜日の通学時間帯に震度5強の地震があり、安否確認システムは震度6弱以上が対象であるため作動しなかったが、例えば急に電車が止まって学生が怪我をするなどのケースも想定されるため、適用範囲を検討してほしい旨の発言があった。これに対して、総務室で検討する旨の説明があった。

その他

○ 学生へのアンケートについて

委員から、口頭報告（4）におけるアンケートの他に、授業に関するアンケート等も行っているか質問があり、委員から、授業に関するアンケート等は別途、行っているとの説明があった。

補足

審議事項「(2)第三期認証評価の改善課題に係る改善報告書（案）について」は、後日、最終（案）を書面審議し、審議の結果、原案のとおり承認された。

以上